

授業科目 在宅看護援助論 I	区分・教育内容 統合分野 在宅看護論		
授業担当者 堀井喜世子	開講時期 中期～後期	単位 1 単位	時間数 30 時間
授業の目的 在宅で健康障害を抱えた人々とその家族への看護展開の方法を学ぶ。 授業の目標 <ol style="list-style-type: none"> 1. 地域包括ケアシステムの概要を理解し、多職種連携や看護職が果たす役割と機能を学ぶ。 2. ケアマネジメントの概要を理解し、ケアマネジメントの過程と看護師が担う必要性を学ぶ。 3. 在宅看護過程のポイントを理解し、その展開方法を学ぶ。 4. 事例を通し、在宅看護展開の実際が理解できる。 			
授業概要 地域包括ケアシステムについての概要と看護職の役割や在宅生活におけるケアマネジメント、多職種との連携を理解し、健康障害を抱えた人々が「健康でその人らしい生活」を維持していくために必要な在宅看護の展開方法を学ぶ。 授業計画（進め方） <ol style="list-style-type: none"> 1 回目 地域包括ケアシステムにおける在宅看護①ー地域包括ケアシステムとはー 2 回目 地域包括ケアシステムにおける在宅看護②ー療養の場の移行に伴う看護、多職種連携ー 3 回目 地域包括ケアシステムにおける在宅看護③ー在宅看護におけるケアマネジメントー 4 回目 訪問看護過程ー訪問看護の事例から学ぶー 療養者の全体像を理解するーICF 思考ー <p>*5～10 回目は、事例別（回復期・認知症）看護過程の展開（グループワーク）</p> <ol style="list-style-type: none"> 5・6 回目 療養者の全体像を理解する 7 回目 ICF 思考による情報整理・分析シート（発表） 8・9 回目 関連図作成 短期目標の設定 10 回目 看護計画立案 11 回目 回復期の療養者への在宅看護 12 回目 認知症療養者への在宅看護 13 回目 ターミナル期療養者への在宅看護 14 回目 難病療養者への在宅看護 15 回目 慢性期の療養者への在宅看護（糖尿病） 			
テキスト ナーシンググラフィカ 在宅看護論① 地域療養を支えるケア メディカ出版 ナーシンググラフィカ 在宅看護論② 在宅療養を支える技術 メディカ出版			
指定図書・参考書 公衆衛生がみえる 2020-2021 メディックメディア			
評価の方法 筆記試験 60%、課題レポート・グループワーク 40%			